

# 刑事法の中核テーマを俯瞰する、 大人気書籍の改訂版!

基本構造から実務の考え方まで、根幹をしっかりと理解!

# 刑事法の要点

第二版

前田 雅英 著

東京都立大学法学部名誉教授、警察大学校・関東管区警察学校講師

◆A5判 ◆168頁

◆定価1,320円(本体1,200円+税10%)

ISBN978-4-8090-1441-3 C3032 ¥1200E

## 第二版の特色

### ●図表・判例などを最新版に改訂

刑法犯犯罪発生率など令和4年現在の動向をつかむことができます。

### ●サイバー犯罪について追加

サイバー警察局の設置など、サイバーセキュリティの重要性を解説しています。

### ●さらに読みやすくリニューアル

文字サイズ・余白を整えました。



## 目次

### I 刑事法の特徴

1. 罪刑法定主義 価値判断と恣意的判断
2. 疑わしきは被告人の利益に 「疑わしさ」の程度

### II 日本の刑事法の歴史

1. 第二次世界大戦前の刑事法 西欧からの「守・離・破」
2. 第二次世界大戦後の昭和の社会状況の変化と刑事法解釈
3. 刑事法理論の変化

### III 刑法理論

1. 犯罪と刑罰の考え方
2. 刑罰の考え方
3. 第二次世界大戦後の犯罪状況と刑法理論
4. 客観的構成要件の理解
5. 故意と過失
6. 正当化事由・責任阻却事由
7. 共犯論
8. 刑法各論の重要論点

### IV 刑事訴訟法理論

1. 刑事手続の現状
2. 日本の刑事訴訟の考え方の基礎
3. 捜査の適法性
4. 逮捕・勾留と捜索・差押え
5. 公判廷での審理
6. 証拠法

事項索引

## ●●●● 第二版はしがき (抜粋) ●●●●

本書は、警察官をはじめとする、日本の刑事司法実務に携わられる方々に、「現在の刑事法」の全体像を理解していただくためのものである。版を改めた理由は、主として法改正、新判例の登場にあるが、社会の大きな変化の兆しが、刑事法解釈の基本的部分にも影響を及ぼさうだと感じたからである。

本書は「刑事専門家に対する、個別問題の具体的解決案」を示すためのものではない。「全体」を俯瞰した上で、現実の問題を擬律していただくことが何より大事だと考え、「筋が分かりやすいこと」「短時間で読み切れるもの」「現在の動きを反映したもの」を重視して執筆した。

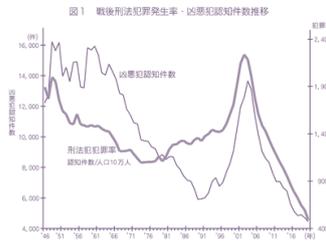
本書は、一通り刑事法を勉強し、さらには、実務でその運用に携わっておられる方にも「全体像」を俯瞰していただくためには有用だと考えているが、大学生や高校生等も含め、より多くの刑事法に関心のある皆様に読んでいただき、警察活動をはじめ、検察、裁判、弁護の活動の意味を知り、日々生起する刑事事件の処理についても、自分の頭で判断するために役に立てばと期待している。

2022年5月 前田 雅英

# 168頁の中に刑事法の最重要部分を凝縮!

## 第二版の見どころ

数値から刑事法の動向を読み解く!



設置することになったのである。この、国を挙げての治安対策により、治安状況は急速に好転した。この変化は、単に刑事司法の活動、その基礎となる警察、検察の政策の成功のみによって説明できるものではない。後述のように、経済状況（とりわけ失業率の変化など）、社会状況（少年に対する社会の考え方、離婚率の変化など）の影響も大きい。しかし、まず、治安の危機的状況を脱することができたことは、確認しておく必要がある。

### ② 戦後の前半期はなぜ治安が良かったか?

1975年までは、犯罪、特に成人犯罪は減り続けてきた。これが日本の「安全神話」の根源である。「一昨年より去年は犯罪が少ない」「去年より今年はもっと減った」。これが、国民の感じた「治安の良さ」の最大の根拠であった。「アメリカの10分の1」というような数値より、実感できるものであった。その意味で、「治安が良い」と最も強く感じられていたのは70年代であった。

II 日本の刑事法の歴史 7

実務の解釈がわかる  
最新関連判例を多数登載!

### ◆判◆

#### 間接正犯の具体例

最決令2・8・24(刑集74・5・517): 病状を遂復し遠隔操作をするなどの非科学的な難病治療を標榜していた被告人は、生命維持のためにインスリンの投与が必要な1型糖尿病に罹患している幼年の被害者の治療を親から依頼され、インスリンを投与しなければ死亡する現実的な危険性があることを認識しながら、自身を信頼して指示に従っている母親に対し、インスリンは毒であるなどとインスリンを投与しないよう脅した文書を送った後、かつ強度の働きかけを行い、被害者へのインスリンの投与をさせず、その結果、被害者を死亡させたという事案である。母親は、「被害者が難病性疾患の1型糖尿病に罹患したことに強い精神的衝撃を受けていたところ、上記のような働きかけを受け、被害者を何とか完治させたいと必死な思いとあいまって、被害者へのインスリンの投与に従う以外にない一途に考えるなどして、本件当時、被害者へのインスリンの投与という期待された作為に出ることができない精神状態に陥っていた」とし、被告人もこれを認識していたとして、未必的な殺意をもって母親を道具として利用し被害者を死亡させたものと認められるとして殺人罪の成立を認めた。(なお、治療法に半信半疑であった父親との間では、保護責任者不保護罪の共同正犯が成立するとされた)。

### ⑥ 不作為と実行行為

不作為とは、不作為によって犯罪が構成される場合で、真正不作為と不真正不作為に大別される。真正不作為とは、刑法107条の不解放任罪、130条後段の不退去罪のように、そもそも構成要件自体が不作為の形式を採用するものである。これに対し、作為の形式で規定された通常の構成要件が不作為によって実現される場合を、不真正不作為と呼ぶ。例えば、母親がミルクを与えないことによって乳児を死なせるような場合が典型例である。不真正不作為は、作為と同じ重さの刑で処罰されるので、作為と等(同)

42

詳しい内容は、こちらまで!

東京法令

検索

<https://www.tokyo-horei.co.jp/>



## 最新の重要判例を読んで、 刑事法の“いま”を理解 刑事法判例の最前線

前田雅英 著

◆A5判 ◆336頁 ◆定価2,970円(本体2,700円+税10%)  
ISBN978-4-8090-1401-7 C3032 ¥2700E

☆刑法総論、刑法各論、刑事訴訟法の重要判例を1冊に集約。

☆判例を理解すれば、実務における法解釈の筋道が分かる。

好評発売中!

第一線で活躍する法律実務家必携

## 月刊誌 捜査研究

◆A5判 ◆128頁 ◆定価990円(本体900円+税10%)

☆前田雅英先生による、「最新刑事判例研究」を好評連載中!(不定期)

☆その他、東京地方検察庁検事によるリレー連載「実例捜査セミナー」など実務に資する情報が満載!

申込書

### 刑事法の要点 [第二版]

定価1,320円(本体1,200円+税10%) [コード13037]

申込

部

### 刑事法判例の最前線

定価2,970円(本体2,700円+税10%) [コード13348]

申込

部

### 捜査研究 月から定期購読

定価990円(本体900円+税10%) [コード97]

申込

部

貴社の個人情報に関する下記取扱いに同意し、上記のとおり申し込みます。

令和 年 月 日

(フリガナ)  
お取扱者(自署)

(TEL - - )

〒  
お届け先住所

団体名

部署名

公用  
 私用

個人情報の取扱いについて 東京法令出版株式会社 個人情報保護管理者 専務取締役

★お客様の個人情報は、契約の履行及び関連製品の案内に利用します。

★本人の同意がある場合又は法令に基づく場合を除き、第三者に提供しません。

★利用目的の達成に必要な範囲内で取扱いの一部を委託することがあります。

★本人からの個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加又は削除・利用の停止・消去の求めに応じます。

★個人情報に関するご照会・お問い合わせ等は、弊社窓口(TEL.026-224-5441、privacy@tokyo-horei.co.jp)までご連絡ください。

★お申込みには個人情報の提供が必要です。提供いただけない場合は、お申込みをお受けできないことがあります。

東京法令出版公式Twitterアカウント

@tokyo\_horei



この申込書は、このままFAXで下記宛にお送りください。

■申込先

東京法令出版 受注センター

〒381-0022 長野市大豆島3111

FAX 0120-338-923

TEL 0120-338-272

(携帯電話からもお申込みできます。)

会社使用欄	団体コード		<input type="checkbox"/> 納品済	入力印	
	得意先コード		<input type="checkbox"/> 請求済	チエック	
	在庫	ラベル	<input type="checkbox"/> 領収済		